

運用報告書(全体版)

第16期<決算日2025年9月24日>

厳選ジャパン

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／国内／株式 |
| 信託期間 | 無期限 |
| 運用方針 | 信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。 |
| 主要投資対象 | わが国の金融商品取引所に上場する株式（上場予定を含みます。）を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 主として、わが国の金融商品取引所に上場する株式（上場予定を含みます。）に投資を行います。優れた経営者の質・ビジョン、新しいビジネスモデルや付加価値の高い商品などから企業価値の増大が期待できる企業に着目します。徹底した企業分析、銘柄調査に基づき、企業の成長力、競争力、収益力、経営力、株価等を分析し、ファンダメンタルズとバリュエーションの観点から、組入候補銘柄群を選定します。ポートフォリオの構築にあたっては、組入候補銘柄群の中から、今後高い利益成長が期待できると考えられる銘柄を厳選して投資を行います。実質株式組入比率は、原則として高位を維持しますが、相場急変時等には一時的に引き下げる場合があります。非株式（株式以外の資産）への投資割合は、原則として信託財産総額の50%以下とします。 |
| 組入制限 | 株式への投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。 |
| 分配方針 | 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して、決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。留保益の運用については、特に制限を設げず、運用の基本方針に基づいて運用を行います。 |

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客様のお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「厳選ジャパン」は、2025年9月24日に第16期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

■最近5期の運用実績

| 決 算 期 | 基 準 価 額 (分配落) | 基 準 価 額 | | | | 株 式 組 入 率 | 株 式 先 物 率 | 純 資 産 額 |
|------------------|------------------|----------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|--------------|
| | | 税 分 | 込 配 | み 金 | 期 謄 落 中 率 | | | |
| 12期 (2023年9月25日) | 円 17,656 | 円 500 | | | % 7.9 | % 96.9 | % — | 百万円 4,935 |
| 13期 (2024年3月25日) | 18,950 | 500 | | | 10.2 | 97.0 | — | 4,623 |
| 14期 (2024年9月24日) | 18,935 | 0 | | | △0.1 | 95.5 | — | 4,159 |
| 15期 (2025年3月24日) | 20,828 | 500 | | | 12.6 | 96.0 | — | 3,920 |
| 16期 (2025年9月24日) | 27,128 | 500 | | | 32.6 | 97.7 | — | 5,010 |

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注3) 当ファンドのコンセプトに適した指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

(注4) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■当期中の基準価額の推移

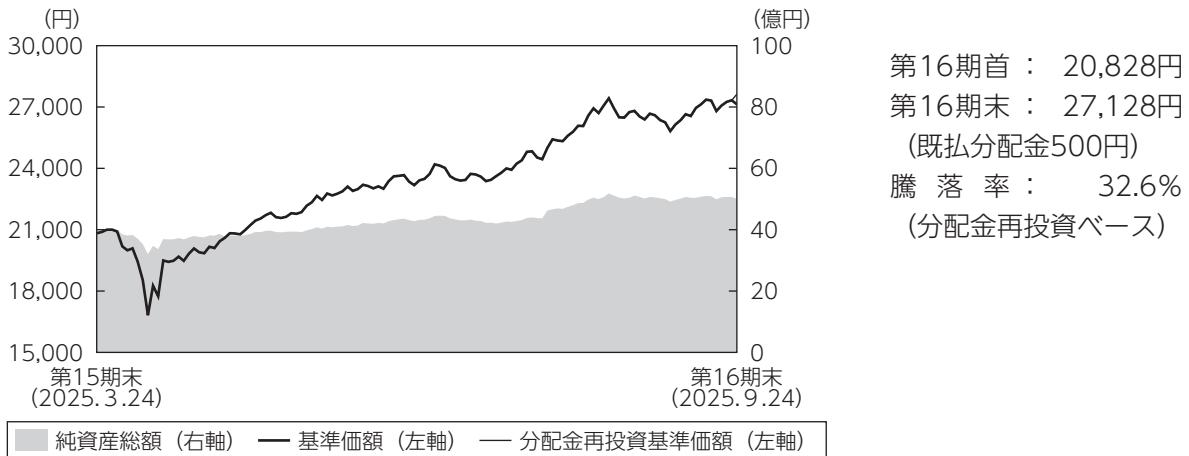
| 年 月 日 | 基 準 価 額 | 基 準 価 額 | | 株 式 組 入 率 | 株 式 先 物 率 |
|--------------------------|-------------|---------|--------|-----------|-----------|
| | | 騰 | 落 | 率 | |
| (期 首) 2025 年 3 月 24 日 | 円 20,828 | | % — | % 96.0 | % — |
| 3 月 末 | 20,185 | | △3.1 | 94.1 | — |
| 4 月 末 | 20,828 | | 0.0 | 97.8 | — |
| 5 月 末 | 22,675 | | 8.9 | 94.5 | — |
| 6 月 末 | 24,134 | | 15.9 | 96.6 | — |
| 7 月 末 | 25,420 | | 22.0 | 94.7 | — |
| 8 月 末 | 26,597 | | 27.7 | 97.7 | — |
| (期 末) 2025 年 9 月 24 日 | 27,628 | | 32.6 | 97.7 | — |

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過 (2025年3月25日から2025年9月24日まで)

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の金融商品取引所に上場する株式（上場予定を含む）の中から、今後高い利益成長が期待できる20銘柄程度を厳選し、投資を行いました。

電気機器、非鉄金属などの上昇により基準価額は上昇しました。個別銘柄では、フジクラ、日本アビオニクス、IHIなどがプラスに寄与する一方、INFORICH、ギフティ、東京エレクトロンなどがマイナス要因となりました。

投資環境

国内株式市場は、2025年4月にトランプ政権が市場予想を大幅に上回る相互関税率を発表し、経済活動への影響が懸念され急落しました。その後は、米国政府の関税施策の一時停止や各国との貿易交渉開始などを好んで回復傾向となりました。さらに、日米関税交渉が懸念していたよりも低い関税率で合意したことや、米国金融政策への緩和期待などから上昇傾向を強め、日経平均株価は史上最高値を更新しました。

ポートフォリオについて

当ファンドは、主としてわが国の金融商品取引所に上場する株式（上場予定を含む）の中から、今後高い利益成長が期待できる20銘柄程度に厳選し投資を行いました。銘柄選定にあたっては、優れた経営者の質・ビジョン、新しいビジネスモデルや付加価値の高い商品等から企業価値の増大が期待できる企業に注目しました。

売買では、ダイヘン、鹿島建設、オープンハウスグループなどの買い付けを行う一方、東京エレクトロン、ベイカレント、フジクラなどの売却を行いました。

分配金

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

| 項目 | 当期 |
|------------|---------------------------|
| | 2025年3月25日 ～2025年9月24日 |
| 当期分配金（税引前） | 500円 |
| 対基準価額比率 | 1.81% |
| 当期の収益 | 500円 |
| 当期の収益以外 | －円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 17,127円 |

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

日本株は、構造的な人手不足などによるインフレ定着と実質マイナス金利の継続が企業業績の拡大に寄与し、中長期的に注目できる状況と考えています。

短期的には、米国関税政策の企業業績への影響が本格化していくと考えていますが、一方で、来期以降の成長に向けた企業の動きや、国内外で景気動向に配慮した経済政策がプラス要因になると想っています。

人手不足や賃上げに対応するためのデジタル化投資、AIや半導体、エネルギー、防衛分野などで見られる国内外での投資拡大、エンターテイメント分野の成長、上場企業の経営変化は続くと考えており、関連企業に注目していきます。

引き続き、業績動向や成長性と比較して株価指標に割安感があり、社会課題の解決に貢献するような成長企業に投資していきます。

■ 1万口当たりの費用明細

| 項目 | 第16期 | | 項目の概要 | |
|---------------------|-----------------------------|-------------------|--|--|
| | (2025年3月25日 ～2025年9月24日) | | | |
| | 金額 | 比率 | | |
| (a) 信託報酬 (投信会社) | 200円 (97) | 0.854% (0.416) | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は23,405円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 | |
| (販売会社) | (97) | (0.416) | 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価 | |
| (受託会社) | (5) | (0.022) | 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 | |
| (b) 売買委託手数料 (株式) | 7 (7) | 0.029 (0.029) | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料 | |
| (c) その他費用 (監査費用) | 0 (0) | 0.001 (0.001) | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 | |
| 合計 | 207 | 0.883 | | |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

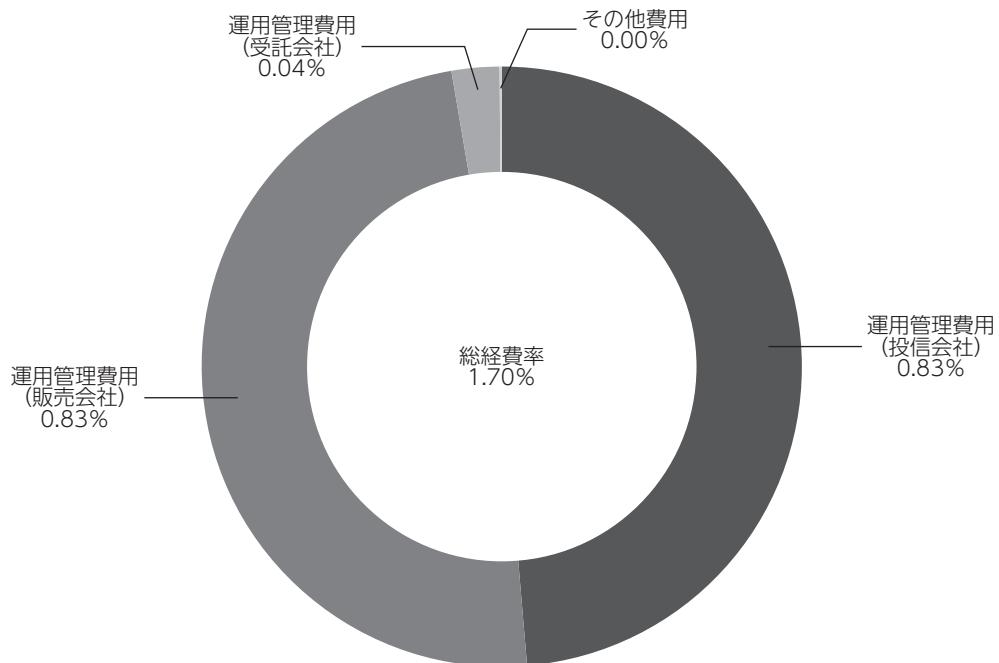
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況 (2025年3月25日から2025年9月24日まで)

株式

| | | 買付 | | 売付 | |
|----|----|---------------------|------------------------|-------------|-----------------|
| | | 株数 | 金額 | 株数 | 金額 |
| 国内 | 上場 | 千株 192.3 (52) | 千円 1,255,908 (-) | 千株 266.5 | 千円 1,358,462 |

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は株式分割、増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項目 | 当期 |
|-------------------|-------------|
| (a) 期中の株式売買金額 | 2,614,370千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 4,144,372千円 |
| (c) 売買高比率 (a)/(b) | 0.63 |

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等 (2025年3月25日から2025年9月24日まで)

(1) 期中の利害関係人との取引状況

| 決算期 | 当期 | | | | | |
|-----|--------------|------------------------|-----------|--------------|------------------------|----------|
| 区分 | 買付額等 A | うち利害関係人 との取引状況 B | B/A | 売付額等 C | うち利害関係人 との取引状況 D | D/C |
| 株式 | 百万円 1,255 | 百万円 133 | % 10.6 | 百万円 1,358 | 百万円 13 | % 1.0 |

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

| 項目 | 当期 |
|------------------|---------|
| 売買委託手数料総額 (A) | 1,246千円 |
| うち利害関係人への支払額 (B) | 80千円 |
| (B)/(A) | 6.5% |

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

国内株式

| 銘 柄 | 期首(前期末) | | 当 期 末 | |
|--------------|---------|-----|---------|----|
| | 株 数 | 株 数 | 評 価 額 | 千円 |
| 建設業 (10.3%) | 千株 | 千株 | 千円 | |
| 鹿島建設 | — | 55 | 241,175 | |
| 関電工 | 80 | 65 | 263,900 | |
| 食料品 (0.1%) | | | | |
| オリオンビール | — | 3.3 | 2,805 | |
| 化学 (4.3%) | | | | |
| 東京応化工業 | 50 | 42 | 208,698 | |
| 医薬品 (−%) | | | | |
| ロート製薬 | 50 | — | — | |
| 非鉄金属 (5.7%) | | | | |
| フジクラ | 30 | 19 | 276,830 | |
| 機械 (11.7%) | | | | |
| 西島製作所 | 70 | 35 | 73,045 | |
| ダイキン工業 | 3.5 | — | — | |
| 三菱重工業 | 75 | 60 | 232,680 | |
| I H I | 22 | 15 | 265,650 | |
| 電気機器 (41.6%) | | | | |
| イビデン | — | 34 | 299,948 | |
| 日立製作所 | 45 | 45 | 181,350 | |
| 三菱電機 | 68 | 69 | 264,132 | |
| 富士電機 | 24 | 27 | 265,464 | |
| ダイヘン | — | 32 | 269,440 | |
| 日本電気 | 13 | 58 | 276,428 | |
| ソニーグループ | 62 | 63 | 272,286 | |
| 日本アビオニクス | 65 | 45 | 208,800 | |
| 東京エレクトロン | 6 | — | — | |

| 銘 柄 | 期首(前期末) | | 当 期 末 | |
|----------------|---------|-------|---------|---------|
| | 株 数 | 株 数 | 評 価 額 | 千円 |
| 情報・通信業 (10.0%) | 千株 | 千株 | 千円 | |
| ギフティ | 100 | 100 | 119,000 | |
| 東宝 | 31 | 25 | 237,275 | |
| ソフトバンクグループ | — | 7 | 133,000 | |
| 卸売業 (4.3%) | | | | |
| サンリオ | 31 | 31 | 208,971 | |
| 銀行業 (4.9%) | | | | |
| 楽天銀行 | 33 | 30 | 238,170 | |
| 不動産業 (5.0%) | | | | |
| オープンハウスグループ | — | 32 | 245,184 | |
| サービス業 (2.3%) | | | | |
| ベイカレント | 29 | 13 | 112,996 | |
| INFORICH | 40 | — | — | |
| 合 計 | 株 数 | ・ 金 額 | 千株 | 千円 |
| | 銘柄数 | <比率> | 927.5 | 905.3 |
| | | | 21銘柄 | 23銘柄 |
| | | | | <97.7%> |

(注1) 銘柄欄の()内は、期末の国内株式評価額に対する各業種の比率です。

(注2) 合計欄の< >内は、期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨ててあります。

■投資信託財産の構成

2025年9月24日現在

| 項 目 | 当 期 末 | |
|-------------------------|-----------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 株 式 | 千円 | % |
| コ ー ル ・ 口 ー ン 等 、 そ の 他 | 4,897,227 | 93.8 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 324,982 | 6.2 |
| | 5,222,209 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年9月24日)現在

| 項目 | 当期末 |
|-----------------|----------------|
| (A) 資産 | 5,222,209,236円 |
| コール・ローン等 | 280,783,024 |
| 株式(評価額) | 4,897,227,000 |
| 未収入金 | 41,794,212 |
| 未収配当金 | 2,405,000 |
| (B) 負債 | 211,349,250 |
| 未払収益分配金 | 92,356,321 |
| 未払解約金 | 82,005,783 |
| 未払信託報酬 | 36,953,164 |
| その他未払費用 | 33,982 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 5,010,859,986 |
| 元本 | 1,847,126,425 |
| 次期繰越損益金 | 3,163,733,561 |
| (D) 受益権総口数 | 1,847,126,425口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 27,128円 |

(注) 期首における元本額は1,882,431,544円、当期中における追加設定元本額は599,388,110円、同解約元本額は634,693,229円です。

■損益の状況

当期 自2025年3月25日 至2025年9月24日

| 項目 | 当期 |
|------------------|-----------------|
| (A) 配当等収益 | 23,089,365円 |
| 受取配当金 | 22,663,192 |
| 受取利息 | 426,121 |
| その他の収益金 | 52 |
| (B) 有価証券売買損益 | 1,075,210,560 |
| 売買益 | 1,356,215,275 |
| 売買損 | △281,004,715 |
| (C) 信託報酬等 | △36,987,146 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 1,061,312,779 |
| (E) 前期繰越損益金 | 250,237,457 |
| (F) 追加信託差損益金 | 1,944,539,646 |
| (配当等相当額) | (1,224,450,072) |
| (売買損益相当額) | (720,089,574) |
| (G) 合計(D+E+F) | 3,256,089,882 |
| (H) 収益分配金 | △92,356,321 |
| 次期繰越損益金(G+H) | 3,163,733,561 |
| 追加信託差損益金 | 1,944,539,646 |
| (配当等相当額) | (1,224,450,072) |
| (売買損益相当額) | (720,089,574) |
| 分配準備積立金 | 1,219,193,915 |

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

| 項目 | 当期 |
|----------------------|---------------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | 22,312,635円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | 1,039,000,144 |
| (c) 収益調整金 | 1,944,539,646 |
| (d) 分配準備積立金 | 250,237,457 |
| (e) 当期分配対象額(a+b+c+d) | 3,256,089,882 |
| (f) 1万口当たり当期分配対象額 | 17,627.87 |
| (g) 分配金 | 92,356,321 |
| (h) 1万口当たり分配金 | 500 |

■分配金のお知らせ

1万口当たり分配金 500円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

(2025年4月1日)

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。